

会員の皆様へ

『保育学研究』第 65 巻(2026 年投稿 2027 年発行)より
完全電子化のお知らせ

『保育学研究』は、第 65 巻(2026 年投稿・2027 年発行)より、即時オープンアクセス化すると同時に完全電子化になります。

世界の権威ある研究機関の学術誌では、学術論文などの研究成果を、発表と同時にインターネット等で無料公開し、世界中で閲覧および利用することができる、即時オープンアクセス化する動きが加速しております。現在、日本においても、各研究機関が、急速にこの世界の流れに追いつこうとしています。

本学会においても、秋田前会長の時から、理事会並びに社員総会で、会員の皆様のご理解を頂きつつ、『保育学研究』が世界的にも評価される学術誌であり続けるために、数年をかけて即時オープンアクセス化の準備を進めてまいりました。

この度、即時オープンアクセス化の準備が無事に整いましたので、第 65 巻(2026 年投稿・2027 年発行)より、『保育学研究』誌の即時オープンアクセス化に移行いたします。これにより、第 65 巻の『保育学研究』掲載論文以降、完全なオープンアクセス論文(OA 論文)となります。これに伴い、これまで、紙媒体で作成しておりました『保育学研究』を、完全電子化にさせていただきますことを、お知らせいたします。

会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

一般社団法人 日本保育学会 会長 戸田雅美